

会 議 結 果 概 要

附属機関等の名称	栃木県公私立高等学校協議会
会議の公開について	公 開
令和元(2019)年 10 月 25 日	
<p>(概 要)</p> <p>1 開催日時 令和元(2019)年 10 月 21 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 2 3 分</p> <p>2 場 所 栃木県公館 中会議室</p> <p>3 出席者 会長ほか委員 14 名</p> <p>4 内 容</p> <p>(1) 高等学校の生徒募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立高校全日制課程の募集定員は 11,675 人 (前年比 360 人減) で、小山北桜高等学校、足利工業高等学校、黒羽高等学校、那須清峰高等学校、那須高等学校、栃木商業高等学校、足利女子高等学校、烏山高等学校、大田原高等学校において各 1 学級減の合計 9 学級減とする。 ○ 県立高校定時制課程の募集定員は 560 人 (前年比 40 人減) で、宇都宮商業高等学校において 1 学級減とする。 ○ 全日制私立高校の募集総人員は 7,065 人 (前年比 150 人減)、広域通信制高校 1 校の募集人員 (日々輝学園高等学校塩谷本校・宇都宮キャンパス) は 90 人 (前年度と同じ) である。 <p>(2) 地域との協働による教育の充実について</p> <p>平成 3 0 年に出された新高等学習指導要領では、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が求められている。高校生が地域への理解を深め、地域の課題解決に向けて主体的に取り組めるよう、地域の市町、高等教育機関、産業界等と高等学校が連携・協働することは、体験と実践を伴った探究的な学びにつながり、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に大きな意義を持つ。また、地域への愛着や地域の将来を担う当事者としての意識の向上など、地域の持続的発展に資することも期待できる。高校生が、地域への課題意識や貢献意識を持って探究しながら、未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けられる仕組みの構築に向けた、地域との協働の在り方について意見交換を行った。</p>	
問合わせ先	栃木県公私立高等学校協議会事務局 栃木県経営管理部文書学事課私学・宗教法人担当 電 話 028-623-2056 F A X 028-623-2074 栃木県教育委員会事務局高校教育課人事担当 電 話 028-623-3396 F A X 028-623-3393